

- 2) 丘疹
3) 膿疱
4) 膨疹
5) 落屑

解答： 5

解説：

皮疹＝発疹。(新しい皮膚科学には発疹で表記されている。)
皮疹の種類を以下に記載する。

1：皮膚面にあるもの	3：皮膚面より陥凹しているもの
a) 紅斑	a) 萎縮
b) 血管拡張	b) びらん
c) 紫斑	c) 潰瘍
d) 白斑	d) 亀裂
e) 色素斑	
2：皮膚面より隆起しているもの	4：発疹の上に乗っているもの
a) 膨疹	a) 鱗屑
b) 丘疹	b) 痂皮
c) 結節	
d) 水疱	
e) 膿疱	
f) 癬胞	参考：必修皮膚科学 p20

落屑について：鱗屑が皮面から剝離して脱落する現象のことを落屑という。

問題 8

最も考えられる疾患を選べ。

23歳の女性。下腿の皮疹を主訴に来院した。数日前から咽頭痛と関節痛が出現しており、市販の風邪薬を服用していた。両側下腿に直径5mmから10mmの紫斑が多発しており、関節痛は持続している。赤血球数460万、ヘモグロビン14.0g/dl、白血球9000、血小板17万。

- a) 血友病
b) SLE
c) Henoch-Schonlein 紫斑病
d) 骨髓異形成症候群
e) 特発性血小板減少性紫斑病

解答：c) Henoch-Schonlein 紫斑病

解説：

c) 頭痛、咽頭痛、感冒様症状とともに、両側の下腿中心に浸潤を触れる紫斑が多発し、関節痛や消化器症状、腎障害を呈する。病理組織学的には白血球破砕性血管炎であるが、その中でも真皮上層に限局し、血管壁へのIgA沈着を認めるものをいう。

病因としては小児では上気道感染後に発症する例が多く、溶連菌との関連性が指摘されている。薬剤(ペニシリン、アスピリン)、食物(牛乳、卵)も抗原として知られる。これらの抗原が体内の抗体(IgA型が主体)と結合し、その免疫複合体が血管壁に沈着、免疫反応が惹起されて血管炎や紫斑をきたす。

a) 血液凝固因子が、血漿中で欠乏することによって引き起こされる止血異常症。

b) 皮膚症状としては、蝶形紅斑、手掌紅斑、DLE(顔面や口唇、耳など露光部に生じる境界明瞭な円形状紅斑)、口腔内潰瘍、皮下硬結、脱毛などである。全身症状は多彩なのでここでは挙げないが、大きく言うと、発熱、全身倦怠感、関節痛、浮腫などを初発として、それにともなって上記のような皮膚症状が出現する。

d) 変異多潜能性幹細胞の単クローン増殖によって、骨髄が部分的、全体的に置換された状態になる病气。幹細胞は赤血球や顆粒球、血小板などに分化はするが、それは病的なものである。患者の大部分は50～70歳の高齢男性。末梢血で血球減少がみられる。

e) 血小板減少に伴う紫斑。血小板数が10万/mm³以下で打撲などによる皮下出血をきたしやすくなり、5万/mm³以下になると出血傾向が著明となり紫斑が生じる。病因は自己の抗血小板抗体による。

問題 9

V型コラーゲンの関与する先天性疾患及び後天性疾患を1つずつあげ、簡単に述べよ。(100字以内)

解答：

・先天性疾患

V型コラーゲン遺伝子の変異により発症、全身に表皮下水疱を形成する栄養障害型表皮水疱症がある。常染色体優性遺伝と劣性遺伝のものがあり、後者の方が重症である。症状として爪甲脱落、指趾癒着、食道変形などがある。また、癬痕瘡を作りやすい。(115文字)

・後天性疾患

V型コラーゲンに対する自己抗体が後天的に産生され、表皮下水疱を形成する後天性表皮水疱症がある。機械的刺激によってびらんや水疱を生じ、治癒後に稗粒腫や癬痕を残すことが多い。成人以降に好発する。難治性である。(102文字)

解説：

※疾患名の欄があるかどうかかわからないので、多めに書きました。適当に削ったりしてください。

問題 10

円形脱毛症の臨床症状及び治療方法について述べよ。(200字以内)

解答：

自覚症状はなく、被髪頭部に円形～楕円形で非癬痕性の境界明瞭な脱毛がある。通常型では、単発性あるいは多発性に脱毛する。進行すると被髪頭部の毛がほとんどなくなり、眉毛、まつ毛、陰毛も脱毛することがある。また、爪甲に点状凹陥、流瀾、剥離、縦溝がみられることがある。アトピー性皮膚炎などの疾患との合併で、全頭脱毛や全身脱毛がおこる。患者には、自律神経障害や精神的ストレスの関与を考え、精神的過敏にならぬようよく説明する必要がある。単発性では自然治癒傾向がある。治療法としては、雪状炭酸圧圧法、副腎皮質ステロイドと塩化カルプロニウムの外用療法、セファランチンとグリチルリチンの内服療法がある。(計276字)